

石川 勝 (いしかわ まさる)

プランナー／プロデューサー

株式会社シンク・コミュニケーションズ 代表取締役



1963年札幌市生まれ。2004年、株式会社シンク・コミュニケーションズ設立、代表取締役就任。2006年から2016年まで東京大学 IRT 研究機構プロジェクトマネージャー兼 IRT コンテンツ部門長。博覧会や地域振興事業等の大規模プロジェクトや科学技術を用いた展示会等に幅広い経験と専門性を持つ。プランナーとして20年以上のキャリアを持ち、これまでに書いた企画書は1000本以上。経済産業省のコンテンツ産業関連の事業でプロデューサーを務めるなど、コンテンツ分野の官民事業を数多く手掛ける。2011年にはTRFのSAMが立ち上げたダンスによる高齢社会貢献プロジェクト「一般社団法人ダレデモダンス」に理事として参加。

■主な職歴

経済産業省 デジタルコンテンツ EXPO エグゼクティブプロデューサー (2007-2017)

経済産業省 技術戦略マップ (コンテンツ分野) 委員 (2008-2015)

経済産業省 クールジャパン事業 (フランス) プロデューサー (2011)

全国LPガス協会 広報アドバイザー (2015-2017)

一般社団法人ダレデモダンス 理事 (2015-2017)

上海万博 日本政府館ロボット出展事業 実行委員長 (2010)

経済産業省「今年のロボット」大賞 推進委員・事務局長 (2006-2008)、審査委員 (2010)

キッズデザイン博 2008 プロデューサー

愛知万博ロボットプロジェクト プロデューサー (2003-2005)

2005年日本国際博覧会 チーフプロデューサー補佐 (2002-2005)

2005年日本国際博覧会 愛・地球広場 企画編成プロデューサー (2003-2005)

2005年日本国際博覧会 超極小RFID μ チップ入場券プロデュース

山陰・夢みなと博覧会 チーフディレクター

北九州博覧祭 ディレクター

大倉山ジャンプ競技場周辺整備事業

阿蘇らくのうパーク 開発事業

松江テルサ 運営計画

島根県立水族館アクアス 事業計画

恵比寿ガーデンプレイス ネーミング及びVIプロデュース

トヨタアムラックス東京 VIプロデュース

東京ディズニーリゾート ブランディング

東京ドームホテル ブランディング

紅陵学院 ブランディング及びVIプロデュース

2005年日本国際博覧会愛称 愛・地球博VIプロデュース

■著書、執筆

Home-Assistant Robot for an Aging Society. (Kimitoshi Yamazaki, Ryohei Ueda, Shunichi Nozawa, Mitsuharu Kojima, Kei Okada, Kiyoshi Matsumoto, Masaru Ishikawa, Isao Shimoyama, Masayuki Inaba) Proceedings of the IEEE, 2012

「バーチャルリアリティ学」(共著: VRコンテンツ ロボティクス担当執筆) VR学会 (2010年1月)

「愛・地球博に見る新技術とロボットプロジェクト」(社)情報処理学会音声言語情報処理研究会 研究報告 (2006年2月)

「万博でプロトタイプロボットをどう見せるか」日本機械学会日本機械学会誌7月号付録 (2005年7月)
北九州博覧祭「テクニカル・ガイドブック」(共著)北九州博覧祭協会 (平成13年7月)

「博覧会の歴史と意義」財団法人北九州都市協会 平成12年度研究報告集 (2000年12月)

「夢みなと博の贈り物」(共著)株式会社 山陰経済経営研究所 (1998年3月)

■講演、取材

「Taiwan Industrial Technologies and Policies Forum」Keynote Speech-Robotics (2014年12月)

「Asia Content Business Summit 2014 技術セッション」(2014年10月)

「Dance Project vol.3 - SHOW 空間でのProjection Mapping - 」(2013年10月)

「VOCALOID Trans-Pacific プロジェクト」(2012年10月)

「Making of VOCALOID3 × LiveAR」(2011年10月)

「Le journal de Jetro Paris」JETROパリ広報誌 (2011年6月)

「ロボットコンテンツの可能性」(2010年10月)

「エコは消費を押し上げるか」(2010年7月)

「ソーシャルプロジェクトとコンテンツ産業」(2010年3月)

「東京大学IRT通論 コンテンツ研究」東京大学 大学院情報理工学系研究科 (2009年6月)

「プロモーションマネジメント研究会」社団法人 日本POP広告協会 (2007年12月)

「愛・地球博に見る新技術とロボットプロジェクト」情報処理学会音声言語情報処理研究会 (2006年2月)

「愛・地球博に見るモバイルの将来」(基調講演) NTTドコモ北海道モバイルフロンティアセミナー (2005年12月)

■ 業務領域と主な実績

イベントプロデュース

博覧会、展示会、シンポジウムなどのイベントにおける、マスタープラン開発、事務局支援、制作管理、運営管理、プロモーション活動などのプロデュース。コンセプトやテーマの深耕に加え、予算や組織運営など現実面の課題を整理する事業プロデュースを得意とする。

<主な実績>



愛知万博

博覧会協会のチーフプロデューサー補佐として、全体基本計画（マスタープラン）の策定に従事



愛・地球広場

テーマ事業「愛・地球広場」の企画・編成プロデューサーとして、事業計画や編成計画の策定とコンテンツ制作管理を実施



デジタルコンテンツEXPO

エグゼクティブ・プロデューサーとして、最新のコンテンツ技術を招請と、シンポジウムやイベントの企画運営を主導



クールジャパン事業（フランス）

日本野文化産業の海外展開を促進するために、パリでダンスロボットなど日本を代表するコンテンツを披露



愛知万博ロボットプロジェクト

NEDO 次世代ロボット実用化プロジェクトのサブプロジェクトリーダーとして愛知万博ロボットプロジェクトをプロデュース。



ロボット大賞

経済産業省が実用化に貢献したロボットを表彰する「ロボット大賞」の創設から制度設計、展示事業までをプロデュース



キッズデザイン博 2008

子どもの安全安心に配慮した製品を表彰するキッズデザイン賞の受賞作品の展示イベントをプロデュース



上海万博ロボット出展事業

上海万博への日本のロボット出展事業を、NEDO の実行委員会委員長としてプロデュース

ソーシャルデザイン

社会的課題の解決のために企業や自治体、大学などが行う、地域活性化事業やCSR、USRなどのソーシャルプロジェクトのプロデュース。過去に例のないプロジェクトの企画立案と、組織や立場の垣根を越えて協働する水平連携型の組織のファシリテーションを得意とする。

<主な実績>



ソーシャルプロジェクト研究会

異業種の企業が連携し、社会的課題の解決と経済活動が両立する新たなビジネスモデルを探ることを目的に、凸版印刷株式会社が行う研究会活動に参画



東京大学コンテンツ研究会

東京大学において、少子高齢社会の実体やそれに伴う社会的・経済的变化を、社会的手法を用いて解析する研究活動を主導



東海大学USR活動

大学の社会貢献活動として、学生が自分たちの力で「砂浜の図書館」をつくるプロジェクトで、企画・実施を指導



ソーシャルメディア

USTREAM や facebook などのソーシャルメディアを用いた次世代型コミュニケーションプログラムを数多く実施

サイエンスコミュニケーション

ロボットやVRなどの先進テクノロジーを広く社会に周知するとともに、それらの技術を社会の課題解決やイノベーションに役立てるプロジェクトのプロデュース。メディアプロモーションなどを活用して社会の期待感を向上させ、「死の谷」を乗り越えるムーブメントづくりを得意とする。

<主な実績>



東京大学 IRT プロジェクト
 少子恒例社会の課題を解決するために、生活支援ロボットや移動支援モビリティなどの実用化促進プロジェクトの中核メンバーとして参画



ダンスロボットパフォーマンス
 産総研のヒューマノイドロボット HRP-4C “未夢” を用いて、TRF の SAM 氏とともに人とロボットのコラボによるダンスパフォーマンスをプロデュース



μチップ入場券
 愛知万博の入場券に日立が開発した極小 IC チップを導入。偽造へのセキュリティを飛躍的に高めるとともに、ユニーク ID によるパーソナルなサービスを実現



デジタルアース
 デジタルコンテンツ EXPO のコンセプト展示として、床に投影された地球の上を人が通ると、波紋が現れるインタラクション映像をプロデュース

クリエイティブディレクション

ネーミング開発やデザインディレクション、空間デザインなどのクリエイティブディレクション。コンセプトの視覚化によるキービジュアルの開発と、それをツールや空間などに展開するデザインシステム開発を得意とする。

<主な実績>



恵比寿ガーデンプレイス
 サッポロビールが本社を構える恵比寿ガーデンプレイスのネーミング及びデザインプロデュース。(デザイナー：佐藤忠敏氏)



愛・地球博
 愛知万博の愛称である「愛・地球博」のネーミング開発とデザインプロデュース。(デザイナー：田村至氏)



東京ディズニーリゾート
 東京ディズニーリゾートのブランディング。「テーマパークからテーマリゾートへ」をコンセプトにブランド戦略を構築



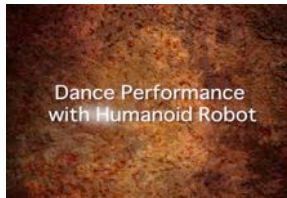
JAPAN CREATIVE CAFE
 経産省クールジャパン事業（フランス）の出展ブース「JAPAN CREATIVE CAFE」のシンボルデザイン開発



空間デザイン
 展示会、博物館、ショールーム、商業施設等の空間デザイン



グラフィックデザイン
 シンボルマーク、サイン、ポスター等のグラフィックデザイン



映像コンテンツ
 FLASH、ムービー、CG 等の映像の制作、編集



WEBコンテンツ
 ホームページ、facebook ページ、i アプリ等のコンテンツ制作

都市開発/施設開発

都市型集客施設、テーマパーク、企業ミュージアム等の都市開発、施設開発のプロデュース。コミュニケーション装置としての目的に合わせ、空間や施設の機能を体系化し、設計やデザイン、コンテンツ、運営などに反映することを得意とする。

<主な実績>



大倉山ジャンプ競技場再開発

札幌オリンピックの舞台となった大倉山ジャンプの再開発。競技会での機能性を維持しながら、観光拠点としての魅力を充実させる計画を立案



ハウステンボス第二期計画

ハウステンボスのオープン後の拡張計画。宿泊客及び夜間の集客を向上させるために、飲食店やショーなどを集積させた「夜の街」を計画



阿蘇らくのうパーク

熊本県酪農業協同組合連合会によるテーマパーク開発事業。実際の牧場で、観光客が搾乳体験や動物とのふれあいを楽しめる施設を計画



大阪ガス「ガス科学館」

大阪ガス泉北工場に立地する企業コミュニケーション施設「ガス科学館」のリニューアルプロジェクト。等身大マジックビジョンなどを導入した